

令和4年度 第1回
地域密着型通所介護運営推進会議 資料



開設当初に植えたモッコウバラ（右）も3年でだいぶ大きくなりました。

株式会社あいむ介護サービス
デイサービスあおやま

地域密着型通所介護運営推進会議について

1 目的

「運営推進会議」とは、厚生労働省令に基づき、利用者の家族や地域住民の代表者等に、提供しているサービス内容(活動状況)を明らかにすることでサービスの質を確保し、地域との連携を図ることを目的としています。

2 構成メンバー

- ・利用者、利用者家族
- ・地域住民の代表者
- ・市職員又は地域包括支援センター職員
- ・地域密着型通所介護について知見を有する者
- ・デイサービス関係職員

3 頻度

概ね6か月に1回以上(年2回以上)

4 資料の内容

デイサービスの活動状況を報告させていただきますで、別紙、意見書に助言や要望等のご意見をお願いいたします。

デイサービスの概要

1 概要

令和元年6月1日開設。定員17名。日曜・年末年始(12/29～1/3)以外営業。

『住み慣れたご自宅で、充実した生活が送れるように』をモットーに、“デイサービスあおやま”では戸建て住宅を改修し、車椅子のご利用者にも対応しながら、よりご自宅に近い環境のもと、炊事、洗濯、掃除、入浴など日常生活には欠かせない活動(行動)を生活リハビリとして、個々に沿ったサービスを提供しています。また、集団活動としては、季節ごとの行事などを実施しています。

活動報告（令和4年4月～令和4年9月）

1 事業・活動内容

① コロナ感染者発生による休業（8/3・9/30）について

8月3日及び9月30日にそれぞれ利用者1名のコロナ感染が発覚、加東健康福祉事務所コロナ相談窓口・監査福祉課等に相談・助言を仰ぎ、社内で検討した結果、両日とも3日間の休業を決定しました。その3日間で施設消毒・清掃（常勤のみ出勤）を行うと共に、利用者・職員への体調確認を行いました。また、独居や高齢者世帯には服薬確認・昼食を持って行くなどの代替サービス実施しました。

営業再開後、爆発的感染はみられなかった事を鑑みると、休業をする事による一定の効果があったものと推測されます。

② 生活リハビリについて

感染予防対策を行いながら、個々に合わせて無理なくできる範囲で、取り組んでいただいています。また、脳トレ（手作業・計算等）や体操の時間を設け、認知機能や筋力の維持に努めています。※調理について感染予防の為、中止しています。

③ ボランティア行事について

感染予防の観点から昨年度より、ボランティア（個人・団体）の受入れを中止しています。

④ 季節行事について

利用者に季節を感じていただけるように、季節行事を規模縮小して開催しました。夏祭りには屋台ラーメン「車ラーメンみやざき」さんにお越しいただき、アツアツの屋台ラーメンを召し上がっていただきました。皆さん、大変喜ばれていました。



季節の壁面作り（道路沿いの出窓に展示しています。）



紫陽花ドライブ（伽耶院）



七夕飾り



夏まつり（屋台ラーメン 車ラーメンみやざき）



2 利用数など

実人員(令和4年3月現在)

(単位:人)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
3	2	5	10	6	0	1	27

延べ利用者数、営業日数、1日当たりの平均人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
要支援1	7	8	9	7	7	12	38
要支援2	10	12	10	12	8	8	60
要介護1	97	95	99	82	59	65	432
要介護2	101	118	108	116	84	108	527
要介護3	57	52	56	51	79	91	295
要介護4	14	15	11	9	0	0	49
要介護5	13	16	17	16	17	18	79
計	299	316	310	293	254	302	1,480
営業日数	25	26	26	26	27(24)	26	130
1日平均	12.0	12.2	11.9	11.3	9.4	11.6	11.4

※8月実績の利用者数減少はコロナウィルス休業の影響があった為。

今後の取り組み(令和4年10月~令和5年3月)

1 地域参加・広報活動

- ① 実習生の受入れを再開予定。実習前・実習当日に抗原検査を実施し、陰性の場合のみ受入れを行います。トライやるウィーク(11月14日~18日)
- ② 地域や他事業所への周知方法(チラシ等)の再検討を行う。

運営推進会議記録

事業所名 住所 サービス種類	名称：デイサービスあおやま 住所：三木市志染町青山5丁目9-5 サービス種類：地域密着型通所介護
開催日時	令和4年10月17日（文書依頼）
開催場所	デイサービスあおやま
選出者内訳	利用者：〇〇様（代表） 家族：〇〇様（代表） 地域代表：〇〇様（青山5丁目自治会相談役） 市・包括職員：〇〇様（三木市介護保険課） 見識者・その他：〇〇様（三木市社会福祉協議会） 事業者：デイサービスあおやま管理者
議題・課題	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍の為、文書にて意見を求めた。 ● 活動報告 ● 今後の取り組み
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料参照
評価、要望、 意見及び助言等	<ul style="list-style-type: none"> ● 別紙意見書（各PDF）参照
考察	<ul style="list-style-type: none"> ● 当施設でコロナ感染症事例が2例発生し、それぞれ3日間の休所を行いました。感染予防の難しさを痛感し、休所する事でご利用者、ご家族、担当ケアマネジャー、他事業所等に多大なるご迷惑をおかけしました。また、初めての試みとして独居、高齢者世帯への安否確認・服薬確認や配食サービスなどの代替えサービスを実施し、比較的スムーズに行えたと思います。そんな中、他事業所を併用されているご利用者に関して振替サービスの実施にあたり、他事業所より「以前、うちがコロナの時に受け入れてもらったから、次はこっちで受け入れます。」と気持ちの良い返答を頂いた時は他事業所との“つながり”に嬉しい気持ちになりました。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 下半期は2年振りにトライやるウィークの受入れを行います。ご利用者、職員とも楽しみにしています。また、コロナの状況を見極めながらボランティアの受入れ再開も視野に入れたいと考えています。 ● 今後も三木市の介護福祉サービスの一役を担えるよう、より一層サービスの向上を目指し、運営していきたいと考えています。
<p>その他必要な事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 次回開催は令和5年3月頃を予定。